



# 干支学からみる亥年の傾向

著述業 井上 象英様

## 卓話者紹介

高山 肇会員

田邊会員が紹介者ですが、本日お休みのため私からご紹介させていただきます。井上先生は東京恵比寿RC会員で、東京商工会議所 女性会理事も務められています。今回で8回目の卓話になります。

## 2019年(平成31年)

**己**(陰土)一音はキ・コ。「土の弟」で方位は中央にあつて四季の土用に当たる。

その意義は「訥」(くっ)で属性は「かがまる」象形では「紀・起」を象り、昨年の戌に引き続き草木の伐採と剪定を加速させることを暗示する。また、説文には「万物辟蔵」(蔵を開く)とあり、曲がったものが頭をもたげて伸びようとする様子と、長い糸の先端を示唆しています。新芽の成長過程の中でも苦しい時期。

**亥**(陰土)一12番目の地支。水に属し、時刻では午後9時~11時の間。方位は北北西。季節は初冬の12月。象形は「豕」或いは「二に从う」で、二とは男女のこと。その働きは「核・刻」で万物が凋落して次世代の種子が内部に閉蔵されてしまった様子を表わしています。説文では「亥は豕なり」とあるが、実際は骸(骨組み)のことで諸動物の芯(孩)を指しています。

**八白土星**一東北に位置し属性は「土」であるが陶器に象徴される土であつて「山」を象る。易卦では艮(☶)で徳性は「止まる・留まる」です。ただ、この星は末端、行き詰まりと同じ意味があり、やがて崩壊するか深い地層を築くかの解釈に分かれます。その様子が明白になるのは4~5月頃。また、身動きが取れない為の感覚的な行動、改革、方向転換の意味合いが強い。

**態勢**・・・「己」は起きる為一旦かがまる様子。「亥」はあらゆるモノが凋落して新しい世代や世界を再生する為の閉蔵に入る意。そして「八白」の土は行き止まりの象。如何なる選挙があつても、どれだけ政治の仕組みが改善されたかは此の亥年で勝負が決まる。国内経済も同じ。混乱と不安要素は新しい時代に向けた膿出しと考えられます。そこで八方位を見渡すと、東北

の二黒に暗剣殺が巡り巳の方に歳破が同座するので、世界の大国と雖も、国政万事に油断は出来ません。諸国のエゴイズムは更に顕著になり、貿易の不均衡問題が経済戦争の前兆に。築き上げてきた信頼関係に溝が出来ないように、慎重な対応が必要と言えます。

## <干支や星が重なる 過去の歴史>

- \*享和 3年(癸亥・八白)長崎にアメリカ船来航。伊能忠敬測量開始。全国に風疹流行。
- \*天保10年(己亥・八白)江戸城再建。奥羽飢饉で死者流民多数。蘭学者言論弾圧激化。
- \*明治 8年(乙亥・八白)旧幕制度の廃止。元老院・大審院設置。学校・貨幣条例制定。
- \*明治44年(辛亥・八白)桂内閣総辞職。朝鮮の土地収用令。中央線開通。私電スト。
- \*昭和 4年(己巳・八白)田中内閣総辞職。世界大恐慌始まる。鉄道疑獄事件。金解禁。
- \*昭和22年(丁亥・八白)吉田内閣総辞職。宮家皇族離脱。各地水害多し。ヤミ米流出。
- \*昭和40年(乙巳・八白)大規模倒産続出。経済不況深刻化。ベ平連結成。私鉄スト。
- \*昭和58年(癸亥・八白)中曽根内閣誕生。赤字国債。大韓航空機事故。産業スパイ。

## <亥年や八白年の傾向>

『戊戌年は繁茂と剪定、時代の流れが大きく変わる年。安倍一強体制では付度を武器に風雪に耐え、小池新党も「喉元過ぎれば・・・」に。利権や悪の温床に切り込みがあるかも知れない。地震の周期は噴火の周期と重なり、竜巻や水害の兆候も・・・』と。これは昨年の講演資料の一文です。正しく企業内秘密は露見と公開の一年でした。

今年は、様々な規制が改善され制定されるが隠蔽体質の崩壊も始まる。IT社会でのインフラ整備は加速し技術革新は進む。しかし経済はどうか。何かの歯車が崩れ一触即発状態の暗示です。自然界では、長雨やゲリラ豪雨、雪崩や土砂災害、陥没事故、地震の周期は秋ごろまで続いている。感染症や新型インフルエンザに注意して下さい。

**今年のキーワード: 「伝統」 & 「変革・再生」**

閉会点鐘

奥山 聡会長

創立/1993年10月13日(平成5年)  
事務局/〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-2  
グランドメゾン九段906号 <http://tokyo-orc.jp/>  
Tel: 03-3288-7300 Fax: 03-3288-7400  
E-mail: ocha-rc@sirius.ocn.ne.jp

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30  
例会場 ホテルグランドパレス Tel: 03-3264-1111  
会長 奥山聡 幹事 山下憲男  
会報委員長: 高山  
委員: 青木 岩佐 笠原 俣野 岡田 岩佐